第19号
No.19
GAKUYUKAI
平成28年10月25日発行

東北大学

学友会

学友会の活動・運営をお知らせする広報紙

題字:書道部　遠藤　俊太郎
(平成23年度卒)

P.1 七大戦3位、優勝は東京大
●七大戦3位、優勝は東京大
●優勝チームキャプテンから一言！

P.2 Windnauts準優勝おめでとう！
体育部
●「仲間と作った機体を信頼している」
●「凛」

P.3 特集「ホームカミングデー」
文化部
●ホームカミングデーってなに？
●記念コンサート
●秋の文化フェスティバル

P.4 第68回東北大学祭が今年も開催！
●学友会団体も参加！
●実行委員長より一言

七大戦3位、優勝は東京大

史上初の4連覇に期待がかかっていた第55回七大学総合体育大会、本学の獲得したポイントは212ポイント、総合順位は3位で幕を閉じました。

序盤は点数が伸び悩み、一時は最下位と1点差というところまで落ち込みましたが、剣道男女優勝から持ち直し最下位争いから脱却。続く種目でも次々と好成績を収め、一気に3位に浮上しました。終盤は2位の大阪大を追いかけ、一度は追い抜くものの最後には再び差をつけられ、最終的に10点差で2位を譲る形となりました。

優勝チームキャプテンから一言!

男子バレーボール部

連覇がかかった今年はプレッシャーもありましたが、全勝優勝を達成できて安堵しています。出場した選手だけでなく、ベンチ内外の部員、マネージャー全員が「優勝するためにはどうすべきか」を考え、一つになれたことが優勝につながりました。

剣道部

学友会剣道部は今回の七大戦で男女とも優勝し、男子は今年でこの大会二連覇となりました。チームの主力だった4年生は引退してしまいますが、今まで通りの練習に加えチーム全体で課題を共有して、チームの底上げをしていきたいと思います。

学友会報道部が全ページを編集しています！

学友会　本学全ての学生・教職員が会員となり、サークル活動、大学祭、新入生歓迎行事、教職員スポーツ大会などに対する支援を行っています。

この広報紙は皆さまの学友会費により作製されています。

第68回東北大学祭が今年も開催!

第68回東北大学祭は10月28日～30日にかけて行われます。A棟とB棟の間に設置される野外ステージではMr&Ms.東北大コンテストをはじめとした様々な企画を行います。

また、東北大学祭公式のスマートフォン向けアプリが開発されました。これにより大学の地図や企画詳細の閲覧ができます。

第68回東北大学祭
「創造しくってごめんなさい。」

▲今年のテーマは「創造しくってごめんなさい。」

学友会団体も参加！

大学祭には学友会のサークルも参加しています。毎年、吹奏楽部や美術部などさまざまな学友会のサークルが、来場者を楽しませる企画を行っています。今回は、例年大学祭に参加している学友会奇術部の企画を紹介します。

奇術部では毎年、マジック喫茶と題して、飲み物を飲みながらマジックやジャグリングを楽しむことのできる企画を行っています。毎回お客様から高評価をいただいています！大学生の活気とアイディアが詰まった企画が目白押しの大学祭、ぜひ足を運んでみてはいかがでしょうか！

実行委員長より一言

大学祭実行委員長の山下航希です。今回の大学祭を通じて大学で学んだ学問や課外活動の成果を、地域の人に還元していきたいと思います。世間一般の人たちは東北大学に固いイメージを持っていると思いますが、大学祭ではテーマのとおり学生たちの「創造しい」姿を見ることが出来ると思うので楽しみにしていてください。

▲昨年の大学祭の様子

学友会費納入のお願い　学友会は皆さんの会費で支えられていますので、学友会費の納入にご協力をお願いします。

問い合わせ先　022-795-3983(活動支援係:教育・学生総合支援センター1階2番窓口)

東北大学 学友会 No.19

学友会ホームページ：
トップページから「教育・学生支援」→「学友会・サークル」の順にリンクをたどってください。

SPORTS

Windnauts 準優勝おめでとう！

第39回鳥人間コンテスト2016が7月30日と31日に、滋賀県彦根市の琵琶湖にて行われました。今年は3部門に36チームが参加し、熱戦を繰り広げました。本学からは学友会人力飛行部「Windnauts」が出場し、人力プロペラ機ディスタンス部門で準優勝を果たしました。

「仲間と作った機体を信頼している」

パイロット 赤石　亮将さん

「Windnautsが出場した部門は他の部門と違い、空を飛ぶ時間が長いし、操縦しながらペダルを漕ぐのでパイロットが記録を伸ばすために重要です。そこが魅力だと思います。」そう話すのは、今大会でパイロットを務めた赤石亮将さん。Windnautsの今大会の記録は約20km、時間にして70分と過酷な競技です。

飛行機が飛び立つプラットホームは湖面から10mの高さがあり、競技開始前にプラットホームから下をのぞいた赤石さんは、その高さに驚いたそうです。しかし、何度も試験飛行を繰り返したのみならず、仲間と作った機体を信頼していたので飛行中に恐怖心は消えていました。

Windnautsでは鳥人間コンテストが終わると3年生が引退します。WindnautsではOBも協力して機体を作っていて、OBの経験を下の代に伝えていく伝統があります。

赤石さんは「来年の鳥人間コンテストに向けてサポートしていきたいです。」と話しました。

「凛」

今大会に出場した機体の名前は「凛」。優勝した昨年の「鴻」よりも翼を1m長くしたり、より軽量化したり改善が加えられました。ネーミングの理由は「凛々しく空を飛んでほしいから」。今大会では、その名に負けないような性能を発揮しました。

人力飛行部代表の小倉士忠さんは「パイロットの赤石の技術や体力は今大会でも1、2を争うレベルでした。そのパイロットの力を引き出せる機体を作ることが出来て満足です」と答えてくれました。昨年優勝した人力飛行部は、大会のルール上飛行条件の悪い最終番機として空を飛ばなければなりません。他のチームより条件が悪い中で勝負するために、強度を保ったまま軽量化を図る必要がありました。

また小倉さんは「来年は優勝と記録更新の両方を目指してほしいです」と後輩を激励しました。

CULTURE

特集「ホームカミングデー」

ホームカミングデーってなに？

東北大学ホームカミングデーは、同窓生が旧友や懐かしい恩師と再会し、在校生と親睦・交流を深めるために、そして「母校に帰ってきていただきたい」という思いを込めた企画であり、創立100周年を迎えた2007年から毎年10月に開催しています。

ホームカミングデーでは、記念講演や親睦会、限定スイーツの販売などさまざまな企画が行われます。

今年の企画内容

記念コンサート

記念コンサートはホームカミングデーのフィナーレであり、毎年大いに盛り上がります。これを支えているのは、学友会混声合唱部、男声合唱部、邦楽部、吹奏楽部、交響楽部です。各部の学生や卒業生が一緒になって作り上げるステージは必見です。ぜひ訪れてみてはいかがでしょう？

秋の文化フェスティバル

ホームカミングデーの間、東北大学川内萩ホールにて学友会文化部のサークルなどがパフォーマンスや展示を行っています。今年は邦楽部・落語研究部・アカペラコーラス部・写真部・書道部が参加します。ホームカミングデーに訪れた卒業生に、日ごろの活動成果を披露します。